

令和6年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 宮北小学校
校長氏名	西井 恵美子
作成日	令和 7年 2月 26日

1 教育目標

心身ともに健やかで、たくましく生きる子供の育成

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	「毎日の勉強がよくわかる」(児童90%) 「子供主体の学習を実現しようとした」(教師90%)	「学校が楽しい」(児童90%) 「子供は毎日楽しそうに学校に通っている」(保護者90%) - いじめの解消率100%	「外で元気に遊ぶ」(児童80%) 「給食の時間が楽しみだ」(児童80%) 「積極的に体を動かすよう計画し、実践した」(教師90%)	「学校は、教育活動や子供の様子をわかりやすく伝えようとしている」(保護者80%) 「地域や保護者と連携した取り組みを実践できた」(教師80%)
重点目標【P】	◎すべての学習において子供主体の学習を基本として行う ◎探求型学習の実践、展開を図る ○基礎学習の充実を図る	◎お互いを理解し、支え合うことができる学級づくりを目指し、自尊感情の高まり、他者理解の深まりを図る ○道徳教育、人権教育を通して子供の心を耕すように努める	◎持久力・体力向上の推進 ○「全校活動」を中心とした基礎体力の充実 ○「歯みがき指導」と「保健安全教育」の推進	◎地域人材を積極的に活用し、子供や教職員と地域の方のつながりを深める ◎情報を積極的に発信し、保護者・地域の方との信頼関係を深める
取組の状況【D】	○子供が自らの気づきや考えをもって学んでいく授業実践 ○発達段階に応じた「みる・きく・伝える」力の育成 ○生活科、理科、総合的な学習を中心に、体験的な学習やフィールドワーク等を積極的な実施。 ○授業改善、新しい学習の創造 ○子供が自身の学びを実感できる振り返りの場の設定	○互いに支え合う学校・学級風土づくり ○行事、児童会活動等、仲間意識を持ち、全校で心を一つにする取り組みの工夫 ○話し合い活動や体験活動を多く取り入れた豊かな学習計画 ○図書ボランティアと連携し、子供たちが本に一層親しめるような図書室の環境整備	○体を動かすことの楽しさを感じられるような声かけや遊びの提案と安全指導。 ○「全校活動」での基礎体力作りにつながる活動 ○毎日の生活リズムを大切にし、早寝・早起き・朝ごはんの推奨 ○保健指導における歯磨き指導の充実 ○外部講師による出前授業での保健安全指導	○日々の教育活動や子供たちの様子の情報発信(学校だよりや学年だより、ホームページ、参観や集会等) ○校区の校園所との連携 ○地域行事への参加 ○地域人材や学習材の積極的な活用
取組の成果と課題(評価)	「毎日の勉強がよくわかる」(児童89%) 「子供主体の学習を実現しようとした」(教師100%) - 全国学力・学習状況調査、和歌山県学習到達度調査においてともに全国や県平均を上回る正答率。	「学校が楽しい」(児童94%) 「子供は毎日楽しそうに学校に通っている」(保護者87%) - いじめの解消率100% - 学年やブロック、全校で取組む継続的な活動を通して仲間意識と協力する心が育っている。	「外で元気に遊ぶ」(児童81%) 「給食の時間が楽しみだ」(児童93%) 「積極的に体を動かすよう計画し、実践した」(教師100%) - よい歯の表彰、学校賞受賞 - 様々な出前授業を通して、知識・理解を深めて生活に活かしている。	「学校は、教育活動や子供の様子をわかりやすく伝えようとしている」(保護者90%) 「地域や保護者と連携した取り組みを実践できた」(教師100%) - ミシンボランティアやクラブ活動の講師など、授業へのお力添えをいただき、指導の充実が図られている。
改善方法【A】	学力の基礎・基本の定着を図り、一人一人の学びを大切に学習構想。個別最適な学びを考え、効果的にデジタル機器を活用した授業改善。	- 一人一人の思いや個性を大切に指導や支援のあり方を常に教職員全体で共通理解を図る。 ・学校と家庭、地域との連携を密にし、よりよい教育活動の実践を目指す。	・子どもを取り巻く状況をとらえ、健康や安全についての指導をもとにした取組の継続実践。	・地域の学習材を積極的に取り入れた、学校の特色を活かしたカリキュラムの創造。

3 その他の課題

--